

地域おこし協力隊

通信

VOL.93

集落支援担当 出口正美隊員



はじめまして。地域おこし協力隊の出口です。6月16日に着任し、問寒別駅前の地域おこし協力隊事務所に勤務しています。

簡単に自己紹介をさせていただきます。私は大阪の茨木市から来ました（生まれは三重県北部です）。大阪の中心部から電車で30分くらいの場所ですが、すぐ近くには「太陽の塔」のある万博記念公園があり自然が豊かな場所です。

5月にコロナが5類に変更されたことにより、約3年間中止、もしくは縮小していた行事が再開しています。特に7月に入ってからは「おもしろ科学館2023」「問寒別神社祭」「盆踊り」など休日は行事の準備やお手伝いで予定が埋まっています。



8月5日には、「問寒別駅100周年記念の行事」がありました。あいにくの悪天候でJRが運休というトラブルはありましたが、行事はとて盛り上がり笑顔がいっぱいの1日でした。着任早々、100周年という節目の行事に参加させていただけたことをとても嬉しく思っています。

皆さま、これからよろしくお願いたします。

気象台一口メモ

竜巻から身を守るために

3年前の2020年9月20日、礼文町ウアントマリ地区で竜巻の発生により、住家屋根のはく離や倉庫の破損など多くの被害を受けました。この他にも、宗谷地方では過去に数件の被害事例があります。

竜巻に遭遇した人からは、

- ◇雲の底から地上に伸びる漏斗状の雲を見た
- ◇飛散物が筒状に舞い上がるのを見た
- ◇ゴーという聞いたことのない音がした
- ◇耳が痛くなった

などの声が聞かれます。

このような状態になりやすい場合、気象情報、雷注意報、竜巻発生確度ナウキャスト、竜巻注意情報を段階的に発表して注意を呼びかけ、天気予報番組などでは、「大気の状態が不安定」と伝えられます。スマートフォンなどでの閲覧やテレビ・ラジオでの放送聴取での活用をお願いします。

また、このような状況に遭遇したら次の対策を講じてください。

- ①頑丈な建物の中に避難する（物置や車庫・プレハブの中、電柱・樹木の近くは危険）
- ②1階の、できれば窓のない部屋に移動する
- ③窓やカーテンを閉め、窓から離れて丈夫な机の下に入るなど、身を小さくして頭を守る

竜巻はあっという間にやってきて被害をもたらしますので、「自分の身は自分で守る」心がけが重要です。

お問い合わせ先：稚内地方気象台 電話 0162-23-2679

